

議会だより



松島町水泳スポーツ少年団、「水しぶきをあげて」

- ◇ 東日本大震災復興交付金
第2次配分 ……………2～3P
- ◇ 平成23年度政務調査費の報告 ……10P
- ◇ 一般質問 6名の議員が登壇 ……11P
- ◇ 委員会レポート ……………19P
- ◇ 町民の声 ……………20P

平成24年
第2回 定例会
[6月8日～6月13日]

一般会計総額 10億2,724万円増の 81億8,127万円6千円に

平成
24年度

各種会計補正予算

質疑者

今野 章 議員	色川 晴夫 議員
高橋 辰郎 議員	片山 正弘 議員
尾口 慶悦 議員	

平成24年第2回定例会が、6月8日から13日までの6日間の会期で開催されました。

提出された議案は、専決処分の承認6件、条例の制定・一部改正3件、平成24年度各種会計補正予算5件、その他2件でした。審議の結果、16議案全て原案通り可決されました。

また、町入札監視委員会委員の選任の同意、町選挙管理委員会委員・補充員の選挙を行いました。一般質問は、6名の議員が、町政の種々の問題13件について質問しました。

一般会計補正予算 (第2号)

主な内容

東日本大震災復興交付金の第2次配分として採択された事業、および4月の職員の人事異動・共済組合負担金の負担率の改正等に伴う人事費、ならびに損壊家屋解体事業等について補正するものである。

主な事業は次の通り。

- ①復興交付金事業(第2次配分事業)
 - 避難施設整備事業(松島地区ほか5箇所)に避難所建設、軽量鉄骨造(20㎡)
 - 安心安全なまちづくり
 - 基盤整備事業(松島地区石田沢に避難所整備)
 - 根廻磯崎線道路築造事業(850m延長分)
 - 町道高城松島線ほか3路線道路整備事業(松島地区4路線計2600m)
 - 町道上竹谷高城線ほか11路線道路整備事業(高)
 - 城・磯崎地区等12路線計5140m)
 - 備蓄倉庫整備事業(町内10箇所、軽量鉄骨造平屋建)
 - 耐震性貯水槽整備事業(容量40t、7箇所)
 - 自家発電設備整備事業(10kVA規格3箇所、3kVA規格3箇所)
 - 漁港施設機能強化事業(手樽地区銭神・名籠・古浦漁港の施設用地の嵩上げ・舗装整備)
 - 漁業集落防災機能強化事業(手樽地区地盤嵩上げ等)
 - 以上調査測量・設計業務費。
 - 復興まちづくり支援施設整備事業(松島パノラマハウス建替)
 - 基本設計・実施設計業務委託料。
 - 他に
 - 漁業集落復興効果促進事業
- 以上12事業に係る配分額は合計で3億2601



建替される松島パノラマハウス

東日本大震災復興交付金

第2次配分

12事業の調査測量設計費として 3億2,601万9千円

万9千円。

②災害復旧事業

●災害等廃棄物処理事業
(損壊家屋等解体の追加
受付)

事業費は2億円。

●公共土木施設災害復旧
事業(手樽地区銭神・名
籠・古浦漁港の復旧工事
設計業務等)

事業費は8332万5
千円。

③その他

●再生可能エネルギー等
導入事業(保健福祉セン
ター・松島中学校への太
陽光発電設備および蓄電
池の整備に係る設計業務)
事業費は450万円。
●合併処理浄化槽設置整
備事業(7人槽35基増分)
事業費は1449万円。

質疑

問 国の復興交付金の2
次配分の内容は、第1次
配分同様、今年度分とし
ては、ほとんどが調査測
量設計費のみである。

平成27年度までの事業
年度中に残りの実質的な
事業経費分は、確実に国
から交付されるのか。

答 国が残りの分を交付

しないというのは、絶対
に許せない話で、ハシゴ
を掛け屋根に上げておい
て外すようなものである。
もしそういう場合は、自
治体の首長として、国の
姿勢をしっかり追及し、
きつちり金を付けさせる
努力をする。

問 復興交付金事業とし
て採択された根廻磯崎線
道路築造の県道側のルー
トは、以前に議会全員協
議会で示されたルートと
異なるのではないか。

交付金が付いたからと
いって、簡単にルート変
更したのは議会軽視では
ないか。

答 財源捻出の状況が変
化したので、事業の実現
可能性を最優先に考えた
上での適切な対応をした。

問 建替になる松島パノ
ラマハウスの今後の入居
者についての契約はどう
なるのか。

答 被災した従来の入居
者については、当該建物
の賃貸契約は1年ごとの
更新なので、契約は現在
切れている状態である。
新築になったら、公募

等含め公平・透明に対処
する。

賛成全員・可決

国民健康保険 特別会計補正予算 (第1号)

主な内容

4月の職員の人件異動
および共済組合負担金の
負担率の改正等に伴う人
件費を補正するものであ
る。

賛成全員・可決

介護保険 特別会計補正予算 (第1号)

主な内容

4月の職員の人件異動
および共済組合負担金の
負担率の改正等に伴う人
件費を補正するものであ
る。

賛成全員・可決

下水道事業 特別会計補正予算 (第2号)

主な内容

4月の職員の人件異動
および共済組合負担金の
負担率の改正等に伴う人
件費を補正するものであ
る。

賛成全員・可決

水道事業会計 補正予算 (第1号)

主な内容

4月人件異動に伴い職
員の人件費を補正し、水
道事業費用の総額を5億
8590万7千円とする
ものである。

賛成全員・可決

〈国保税〉 4月から半年間

半壊以上の世帯減免措置

東北地方太平洋沖地震による災害被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例の制定

主な内容

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による被害は甚大なものとなっており、今なお被災者の方々の日々の生活に多大な影響を与えている。このたび国からの財政支援を受けて、震災による被災者の方々の救済、支援対策として、平成24年度国民健康保険税の4月から9月までに相当する月割算定額を減免措置する条例の制定を提案するものである。



問 国保税の減免は4月から半年間だが、減免期間を延ばすことはできないのか。

答 国の財政支援の期間だけで、延長はない。

問 震災で半壊以上の被害を受けた世帯で、減免の申請漏れはないのか。

答 昨年末に申請されていない方に勧奨の通知をしたが、まだ14名の方が未申請である。今後とも申請を勧奨していく。

賛成全員・可決

○減免対象国民健康保険税

平成24年度国民健康保険税であって平成24年4月分から9月分までに相当する月割算定額を減免の対象とする

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
被保険者 A	← 減免 6ヶ月 →											
被保険者 B 6月資格取得			← 減免 4ヶ月 →									
被保険者 C 12月資格喪失	← 減免 6ヶ月 →											
被保険者 D 8月資格喪失		← 減免 4ヶ月 →										

○平成24年度国民健康保険税の減免額算定

$$\text{年間国民健康保険税額} \text{ ①} \times \left(\frac{\text{減免対象月数 4月～9月} / \text{資格取得月数}}{\text{②}} \right) \times \text{減免割合} \text{ ④} = \text{減免額}$$

例) 合計所得金額500万円以下で月額保険料10,000円とした場合

全壊・大規模半壊：損傷割合が10分の4以上 半壊：損傷割合が10分の2以上10分の4未満とした場合

	年間保険税額 ①	減免対象月数 ②	資格取得月数 ③	減免割合 ④		減免額
被保険者 A	120,000	6	12	全壊	全部	= 60,000
				大規模半壊	1/2	
				半壊		
被保険者 B 6月資格取得	100,000	4	10	全壊	全部	= 40,000
				大規模半壊	1/2	
				半壊		
被保険者 C 12月資格喪失	80,000	6	8	全壊	全部	= 60,000
				大規模半壊	1/2	
				半壊		
被保険者 D 8月資格喪失	40,000	4	4	全壊	全部	= 40,000
				大規模半壊	1/2	
				半壊		

松島町印鑑の登録および証明に 関する条例等の一部改正

主な内容

住民基本台帳法の一部を改正する法律により、新たに外国人住民を住民基本台帳に登録することになった。出入国管理および難民認定法、および日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律が、平成24年7月9日に施行されることになった。外国人登

録法を廃止することとなり、これまで外国人登録法に基づき在留していた外国人を、住民基本台帳に基づく住民として取り扱うこととなり、外国人住民を定義する「外国人登録法に基づき外国人登録原票に記載された外国人」など文言を整理するものである。

賛成全員・可決

松島町町税条例の一部改正

主な内容

地方税法および国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律が平成24年3月31日に公布されたことに伴う改正による。平成25年の所得税から年金所得者に係る源泉徴収税額の計算における寡婦（寡夫）控除適用については、年金所得者が年金保険者（特別徴収

義務者）に提出する申告書により寡婦（寡夫）である旨の、申告をすれば源泉徴収税額計算に反映される。

賛成全員・可決

宮城県後期高齢者医療 広域連合規約の変更

主な内容

今回の規約変更については、出入国管理および難民認定法および日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正することにより、外国人登録法が廃止されるため、規約の変更が必要となり、地方自治法に基づき、関係地方公共団体に協議を求められており、同法の規定により議会の議決を必要とするため提案するものである。

賛成全員・可決

和解および損害賠償の額の決定

主な内容

○事故の概要

平成24年4月9日午後2時頃、松島町高城字根崎地内において、強風のため松島中学校体育館の屋根材の一部が剥がれ落ち、松島町学校給食センター駐車場内に駐車して

いた車両に当たり、車両の前方部分が損傷したものの。

賛成全員・可決

○和解内容および損害賠償額

町の損害賠償金

13万862円

○相手方

高橋 智春 氏

人事

松島町入札監視委員会委員5名 ……適任と答申

○明石 雅英 氏 55歳
(塩竈市)

○石垣 政道 氏 64歳
(松島町)

○泉田 成美 氏 47歳
(仙台市)

○武田 三弘 氏 45歳
(利府町)

○豊田 耕史 氏 48歳
(仙台市)

選挙管理委員会および 補充員の選挙結果………同意

※選挙管理委員会委員

○角田 富子 氏 62歳
(再任)

(松島町幡谷)

○身崎 恵一 氏 54歳
(再任)

(松島町松島)

○伊達 國雄 氏 68歳
(再任)

(松島町高城)

○佐藤稜威彦 氏 67歳
(前補充員)

(松島町高城)

○大山 憲一 氏 66歳
(再任)

(松島町磯崎)

○秋保きみよ 氏 61歳
(再任)

(松島町竹谷)

○上野 和泰 氏 60歳
(新任)

(松島町松島)

○中村 明美 氏 62歳
(新任)

(松島町磯崎)

松島町固定資産評価 審査委員会委員 2名………同意

○大山 堯 氏 77歳
(松島町磯崎)

○澁谷 啓 氏 58歳
(松島町磯崎)

専決処分の承認

**松島町町税
条例の一部改正**

主な内容

「地方税法の一部を改正する法律」及び「東日本大震災の被災者等に係る国税関係法律の臨時特例に関する法律の一部を改正する法律」が平成23年12月14日に公布され、また「地方税法及び国有資産等所在市町村交付金の一部を改正する法律」が平成24年3月31日に公布されたことに伴う改正であり、平成24年4月1日から施行させるものについて専決処分したものである。

問 固定資産税の課税額の変化はどうか。

答 平成6年が約2億8000万円、平成23年が2億5100万円強、24年度当初が2億3600万円強である。

討論

今野 章 議員

【反対】 固定資産税については、平成6年度から評価額の水準を取引価格に近づけるため、それまで地価公示価格の3割程度であったものを、7割の水準まで引き上げるものであったが、激変緩和対策として負担調整措置がつけられた経緯があった。それを2年間の経過措置をもって平成26年には廃止することは増税につながる。また、国会会で消費税法案が審議されており、このまま成立するとすれば、消費税とあわせて何重にも重い税負担となる。このことは東北地方の大震災からの復興の妨げにもなる。

また、バブル崩壊後の不況、景気の低迷が続く中で、土地の値段が下が

り続けても固定資産税の負担はふえるという問題もある。今後、土地に対する課税のあり方がさらに議論されていく必要があると思い、反対の討論とする。

賛成多数・可決

**松島町
都市計画税条例
の一部改正**

主な内容

「地方税法および国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律」が平成24年3月31日に公布されたことに伴う改正であり、平成24年4月1日から施行させるものについて専決処分したものである。

賛成多数・可決

**松島町国民
健康保険税条例
の一部改正**

主な内容

「地方税法の一部を改正する法律」が、平成23年12月14日に公布、平成24年4月1日施行されたことにより、松島町国民健康保険条例の一部改正について専決処分を行ったものである。

賛成全員・可決

**平成23年度
松島町一般会計
補正予算
算**
(第15号)

主な内容

今回の専決処分は、東日本大震災に伴う災害復旧事業に係る国庫負担金の補助率増高等について補正するものである。

問 小石浜川の本格復旧はいつになるのか。

答 復興交付金の一次配分で調査費が認められた。具体的な事業化は、25年度には明確になる。

賛成全員・可決

**平成23年度
松島町下水道事業
特別会計補正予算
算**
(第8号)

主な内容

今回の専決処分は、東日本大震災に伴う災害復旧事業に係る国庫負担金の補助率増高分および災害復旧事業査定設計委託費等補助金を補正し、一般会計繰入金を減額するものである。

賛成全員・可決

**平成23年度
松島町水道事業
会計補正予算
算**
(第7号)

主な内容

今回の専決処分は、上水道施設災害復旧費国庫補助金の確定に伴い、一般会計補助金並びに災害復旧費補助金を補正し、水道事業収益の総額を5億4403万6千円とするものである。

賛成全員・可決

問 平成6年と比べて、今の公示価格はどれくらい下落しているのか。

答 平均のパーセントはデータにはないが、
①高城地区で4万9700円が3万100円。
②松島地区で6万7500円が3万2000円となっている。



小石浜川

報告事項

平成23年度松島町一般会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

復興支援定住促進事業は、家の建築が年度内に終らず10月下旬までに完了する見込みである。

災害廃棄物処理事業と住宅応急修理事業は、ともに平成25年3月下旬までに完了見込みである。

農業生産復旧緊急対策事業と農業食品産業強化対策整備事業は、施設の災害復旧工事が間にあわず、完了見込みが8月下旬になった。

消防施設事業は、救命用ボートの整備だが、5月に完了した。避難所運営用発電機購入事業は、発電機の需要が多くて納品が困難になり、11月の見込みになった。

農林水産施設災害復旧費、公共土木施設災害復旧費、文教施設災害復旧費、役場庁舎災害復旧実施設計業務は、東日本大震災に伴う災害復旧事業で、年度内完了が見込みに繰り越した。

問 災害復旧はいつするのか関心が強い。年度内に終わらないから繰越明許と言わずに、緊急にやってほしい。

答 なるべく早く事業を進めるのは基本である。

しかし、業者も工事案件が重なる等、諸事情もあり遅れている。

平成23年度松島町介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

介護保険システム改修事業は、年度内の完了が見込めず、7月下旬に完了する見込みである。

問 7月までに終わるか。

答 今回は、介護保険の国からのシステム改修の通知が遅れたため、年度内の完成ができなかった。7月には完了する。

問 介護報酬との関係はないのか。

答 介護保険の24年度の本算定が8月なので、7月までには完了する。

平成23年度松島町観瀾亭等特別会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

福浦橋施設災害復旧費は、東日本大震災に伴う災害復旧事業で、年度内完了が見込めずに繰り越し、6月下旬に完了見込みである。

問 東日本大震災の復興交付金なのか。

答 交付金事業は、国費や、公共土木債とは別である。今回は起債で復旧させる。

平成23年度松島町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

長田第2雨水ポンプ場電気機械設備更新工事は6月下旬までに完了見込みである。公共下水道の効率的な下水道事業計画策定業務は8月下旬までに完了見込みである。

問 公共下水道施設災害復旧費は、東日本大震災に伴う災害復旧事業で年度内完了が見込めない。平成25年3月下旬に完了見込みとなっている。

答 公共下水道施設災害復旧費は、東日本大震災に伴う災害復旧事業で年度内完了が見込めない。平成25年3月下旬に完了見込みとなっている。



福浦橋

問 公共下水道災害復旧事業は、約1億8500万円である。繰越明許費のうち地方債は420万円か。

答 1億8500万円のうち、1億4387万円あまりが補助事業である。残り4100万円ほどが単独であり、起債に当たるのが420万円ある。うち、380万円は年度内に完成し、40万円は未完成である。

平成23年度松島町下水道事業会計予算繰越計算書

主な内容

割波配水管布設替工事について、他災害復旧工事との調整により繰り越したものである。

問 役場内の関係課の協議が遅れたために繰り越すのはおかしいのではないか。

答 この地区は、水道の布設替工事、下水道の災害復旧工事、町道の災害復旧工事の3つが重なってしまい、工事を行う業者のタイミング等が遅れてしまい、3月までに完了できなかった。

和解および損害賠償の額の専決処分の報告

主な内容

平成24年3月29日午後0時40分ごろ、松島町高城200番地の松島町駐車場において、公用車を出庫するためバックしたところ、後方を通過する車両に接触し、相手方車両の右側後部分が損傷した。

1. 和解内容および損害賠償額

町は、車両修理費として11万5584円を支払う。

2. 損害賠償の相手方

丹野隆子氏

問 公用車等の事故が多すぎるのではないか。指導が足りないのではないのか。

答 文書による注意喚起等は行っているが、今後もし引き続きやってくる。

問 役場の駐車場は狭いので事故が起こるのではないのか。

答 たしかにその通りである。一方通行にするとかして対応していく。

みなさん
からの

陳情・意見書

陳情・意見書

「松島地域集会施設の設置」に関する陳情……第1常任委員会付託

趣旨

私共、松島第10地区および松島第13地区の区民はコミュニケーションを大切にしてきました。今回の東日本大震災、台風15号においても一致協力して活動し、事故防止に努めてまいりました。

しかしながら、一時避難所や皆で集まる施設がないことから、協力的体制をとるまでに時間を要するなど、集会場の必要と考えています。

そこで、蛇ヶ崎右の町有財産である住宅空き家を整備、又は一部改修して当座の集会施設として使用させていただきたい



蛇ヶ崎右の町有財産

と区民の意見がまとまりましたので、区民の要望にご理解を賜り早急に暫定的な集会施設として活用させていただきまますようお願い致します。

○陳情者

松島区長 高橋儀一
松島第10地区
行政員 上野和泰
松島第13地区
行政員 内海成美

生活再建に至らない東日本大震災被災者の医療費自己負担免除の継続を求める陳情

当件については、今定例会中に陳情を受け、議会として迅速な対応をした。

○陳情者

宮城県保健医協会
理事長 北村龍男

趣旨

東日本大震災により大きな被害を受けた被災者に対する医療費一部負担金（医療機関での窓口負担）免除の扱いは、延長されたとはいえ、2012年9月30日が期限とされております。（福島原発事故の避難者は2013年2月28日が期限。）被災地においては雇用確保、生活再建が進まない中で、体調不良や持病悪化などが慢性化しております。自己免除期間が区切られている状態では安心して医療にかかれません。未曾有の大災害からの復興には長い時間がか

かると共に、被災者の不自由な仮設住宅での生活、将来不安などによりいつその健康悪化が心配です。

つきましては、国の特別な措置として生活再建に至らない被災者の医療費一部負担免除を9月末日で区切らず継続することを求める意見書を提出することを陳情いたします。

議員提案で
意見書を提出

提出先
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣

平成24年第2回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	緑山市朗	佐藤皓一	高橋辰郎	伊賀光男	高橋利典	渋谷秀夫	高橋幸彦	尾口慶悦	色川晴夫	赤間洵	太齋雅一	後藤良郎	片山正弘	菅野良雄	今野章	阿部幸夫	櫻井公一	賛成	反対	
議案第38号	専決処分の承認 (松島町町税条例の一部改正)	6月8日	多	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	14	2
議案第39号	専決処分の承認 (松島町都市計画税条例の一部改正)	6月8日	多	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	14	2
議案第40号	専決処分の承認 (松島町国民健康保険税条例の一部改正)	6月8日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第41号	専決処分の承認（平成23年度松島町一般会計補正予算(第15号)）	6月8日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第42号	専決処分の承認（平成23年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第8号））	6月8日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第43号	専決処分の承認（平成23年度松島町水道事業特別会計補正予算（第7号））	6月8日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第44号	東北地方太平洋沖地震による災害被害者に対する国民健康保険税の減免に関する条例の制定	6月11日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第45号	松島町印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部改正	6月11日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第46号	松島町町税条例の一部改正	6月11日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第47号	宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更	6月11日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第48号	和解及び損害賠償の額の決定	6月11日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第49号	平成24年度松島町一般会計補正予算(第2号)	6月11日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第50号	平成24年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	6月11日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第51号	平成24年度松島町介護保険特別会計補正予算(第41号)	6月11日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第52号	平成24年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	6月11日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議案第53号	平成24年度松島町水道事業会計補正予算(第1号)	6月11日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
議員提案第1号	生活再建に至らない東日本震災被災者の医療費自己負担免除の継続を求める意見書	6月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0

賛否の公表

平成23年度 政務調査費収支報告一覧表

政務調査費は、町条例に基づき松島町議会の会派または議員に対し、調査研究するために必要な経費の一部として一人当たり月額7,000円、年間84,000円が交付され、余剰金がある場合は町に返還します。昨年度の内容を報告します。

会派(議員)名	代表者名	所属議員名	交 付 額	支 出	残額(返還額)
草 莽 の 会	高橋 辰郎	高橋 辰郎	84,000円 (月額7,000円×12月×1人)	105,709円	△ 21,709円 (返還額0円)
				調査研究費 39,029円 研修費 66,680円	
町 民 ク ラ ブ	太齋 雅一	太齋 雅一 色川 晴夫 赤間 洵	252,000円 (月額7,000円×12月×3人)	26,320円	225,680円
				会議費 2,560円 資料購入費 23,760円	
日 本 共 産 党	今野 章	今野 章	84,000円 (月額7,000円×12月×1人)	0円	84,000円 全額返還
公 明 党	後藤 良郎	後藤 良郎	84,000円 (月額7,000円×12月×1人)	0円	84,000円 全額返還
新 政 ク ラ ブ	阿部 幸夫	阿部 幸夫 渋谷 秀夫	168,000円 (月額7,000円×12月×2人)	23,180円	144,820円
				会議費 2,560円 資料購入費 20,620円	
政務調査費(会派分)小計			672,000円	支出額 155,209円 交付額対象分 133,500円	538,500円
緑 山 市 朗			84,000円 (月額7,000円×12月×1人)	102,900円	△ 18,900円 (返還額0円)
				広報費 102,900円	
佐 藤 皓 一			84,000円 (月額7,000円×12月×1人)	52,507円	31,493円
				研修費 40,050円 資料購入費 2,457円 広報費 10,000円	
伊 賀 光 男			84,000円 (月額7,000円×12月×1人)	0円	84,000円 全額返還
政務調査費(議員分)小計			252,000円	支出額 155,407円 交付額対象分 136,507円	115,493円
合 計			924,000円	支出額 310,616円 交付額対象分 270,007円	653,993円

※ 会派：草莽の会の返還額については、交付額よりも支出額が21,709円多いため交付額により算出

※ 緑山市朗議員の返還額については、交付額よりも支出額が18,900円多いため交付額により算出

町政 Q & A

ここが聞きたい! 一般質問

6名の議員が13件について質問

佐藤 皓一 議員 (12ページ) ①アジア人の誘客に力を入れてはどうか
②「復興疲れ」の心配はないか

今野 章 議員 (13ページ) ①原発事故への対応は充分か
②災害住宅政策と町の住宅政策について
③震災復興基金の活用方法は

色川 晴夫 議員 (14ページ) ①集会施設について、あらためて伺う
松島行政区から陳情された集会施設の対応は
②休止されている「アート・フル・松島」の再開で復興を

後藤 良郎 議員 (15ページ) ①救急医療情報ネット配布事業について
②家族防災会議の日について

高橋 辰郎 議員 (16ページ) ①高城川決壊氾濫への対策は
②災害相互支援協定をめざしての町のその後を伺う
③現在国会審議中の新子育て法案について所見を伺う

高橋 幸彦 議員 (17ページ) ①わが町の子育て支援策は十分か

問 アジア人の誘客に 力を入れてはどうか

答 松島のすばらしさを 海外にも発信する

問 この額は五代藩主吉村公が書いた。蘇東坡は中国でも有名で、今後パネル板の説明でPRする。

答 観瀾亭の雨奇晴好の額は中国の蘇東坡の詩からとった。詩人で政治家、東坡肉（豚角煮）を作ったグルメでもある。観瀾亭にこれを書けば、中国人は喜ぶのではないか。

問 海外からの誘客は大事で、海外戦略の方向性を出す。海外市場のなかでは、東アジアと欧州の人が多いが、将来性のあるイスラム圏の受け入れも研究する。

答 イスラム人口はアジアに10億人いて、経済成長と人口増加率が高い。食べ物への制約に対応して、誘客してはどうか。



さとうこういち 議員
佐藤 皓一
(一問一答方式)



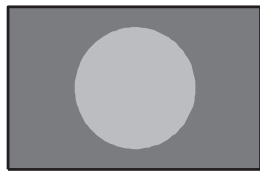
中華人民共和国



パキスタン



インド



バングラディシュ



インドネシア

問 国際的な観光地をめざすので、しっかりと対応策を打つ。これも観光振興計画に盛り込む。

答 観光客の要望をくんで対応することが、国内にも求められている。観光で挽回発展するには、修正する機会ではないか。

一般質問

問 配置転換や協力態勢で解決できるのか、もっと本格的に対応しないとイケないのか。

答 影響は出ている。今もストレスが残っている職員もいて、気をつけてやっている。昨年、心の健康ケアに関する研修と産業界による個別面談をした。今年も同様に進める予定である。

問 心のケアと言う時、普通は被災者のことをさす。行政職や医療関係者の間に復興疲れのような心の症状はないのか。

答 影響は出ている。今もストレスが残っている職員もいて、気をつけてやっている。昨年、心の健康ケアに関する研修と産業界による個別面談をした。今年も同様に進める予定である。

問 「復興疲れ」の 心配はないか

答 早めのケアをしている

問 自然災害の先進地の事例や、精神医療の現場の様子は聞けるのか。

答 心のケアなどについては、災害先進地の行政でも、被災状況にくらべて把握が不十分かも知れない。専門医や産業界に聞くことになる。

問 心のかえアと言う時、普通は被災者のことをさす。行政職や医療関係者の間に復興疲れのような心の症状はないのか。

答 いろいろな要因があり、問題に気づかない点もある。管理職には日常の健康状態に気を配ってもらい、早めに専門医への相談や診断を勧める。



今野 章 議員
（一問一答方式）

問 原発事故への対応は充分か

答 給食センター等に放射線測定機を設置

問 各産業の原発事故被害を把握し、被害賠償を求める方々の支援も考えるべきではないか。

答 6月末と8月末までに放射線測定機計2台を給食センター等に設置し食物や土壌測定強化を検討していきたい。

問 空間線量だけでなく食品や土壌汚染など検査をもっと強化すべきだ。

答 この間、走行サーベイにより空間線量率を測定。町内全域で0.23 μ Sv/h以下と基準値以下である。

問 放射能から生活や健康を守るため食品の安全検査、町内の放射能汚染状況を把握し、対策の強化をすべきではないか。

答 観光など各産業で明確な被害があるが、被害額が積み上っていない。今後、国・東電に被害賠償を求めることになる。

問 原発の再稼働、脱原発に対する考えは。

答 原発の安全性とエネルギー問題は、あるべき姿の検討が必要で情報も少なく、即断できない。



災害復興住宅建設予定地

問 災害復興住宅と町の住宅政策について

答 住宅管理計画を来年度予算に計上する

問 県や地元業界と話し合い配慮したい。家賃は、近傍一戸建てで6万〜8万円だが、低廉化事業など活用したい。建築をスムーズに進めるため用地は現計画で進めたい。

答 復興住宅は5年で仕上げ可能となるが、どう考えているか。

問 制度上、条件が整えば可能だが払下げありきの建築は考えていない。

答 昭和45年までに建築の町営住宅の払下げ、定住促進を見据えた住宅管理計画の策定の考えは。

問 業務委託で地元業者への発注は。家賃の見直し、高齢者に配慮した用地の選定も必要では。

答 磯崎の華園、美映の丘に計画し、建築は宮城県と業務委託協定を締結し、設計・工事を依頼する。木造の戸建て住宅を標準に二戸一棟も想定。

問 災害復興住宅40戸の建設地、建築方法等は。

これも聞きました

問

震災復興基金の活用方法は

答 被災者支援へ新たな事業を検討

問

集会施設について、あらためて伺う
松島行政区から陳情された集会施設の対応は

答

9月定例会に条例改正し、
集会施設として活用



川 晴 夫 議員
いろ かわ はる お
色 川 晴 夫 議員
(一問一答方式)

【答】 12月議会後に検討した。空き住宅については、個人の財産に絡むことで非常に難しく、現時点では無理があると判断している。また、蛇ヶ崎の町

【問】 集会施設について、昨年12月議会で3度目の質問をした。改めて伺う。その時の答弁は「空き住宅の活用は個人の財産を借り上げる場合、期間や補償の問題があり現時点では保留」また、「蛇ヶ崎の町有財産については、23年11月1日に払い下げの告示をしたが申し込みがなかった。今後、活用について再検討する」との答弁であった。この5月、地域住民から町と議会に陳情が出された。昨年12月から半年経過し活用の方法をどう検討されたのか、改めて伺う。

有財産については、地域の実情を確認した。垣ノ内集会場まで遠く、高齢者の方々もおり、そこを利用したいと地域から陳情があった。今後の流れとして、9月定例会に条例の改正、補正予算で修繕を考えていきたい。



蛇ヶ崎右の町有財産

問

休止されている

「アート・フル・松島」の開催で復興を

答

震災復興の見通しがついた段階で再開を検討する

再開を検討する

【問】 平成20年3月議会で「何故にアート・フル・松島を休止したのか」と質問している。平成10年町政70周年時に松島を画題として、アート・フル・松島全国絵画展を創設し、平成18年まで5回開催された。回を重ねることに評価も高くなり出展数も増え、地方の絵画展で河北美術展に次ぐ絵画展を目標に、関係者・職員も努力してきた。大橋町長就任2年目、財政上の観点と事業の見直しによりアート・フル・松島は休止され5年になる。今年

【答】 芸術活動に対する町民の参加が希望につながるという意見は理解する。現在、震災復興で他自治体からも協力を得ている中で復興事業を優先と考えている。アート・フル・松島の再開は震災復興にある程度見通しがついた段階で内容の充実を図り再開を検討したい。



ごとう よしろう 議員
藤 良 郎
(一問一答方式)

問

救急医療情報キット
配布事業について

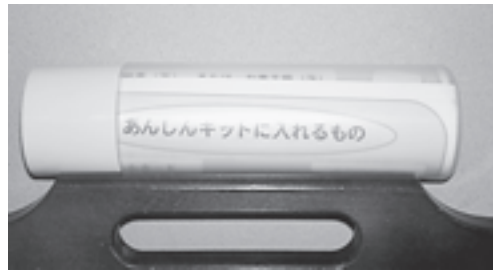
答

ひとりぐらしの方に
配布していく

問 高齢者福祉事業は、誰もが安心して暮らせるよう支援や環境を整備する事業である。23年度の高齢者の現況を伺う。

答 65歳以上の人が4734人、高齢化率は31%である。高齢者世帯数は1251件で、1人世帯が617件、2人世帯が606件、3人世帯が28件である。

問 救急医療情報キット配布事業は高齢者や障害者の方などが、ひとり暮らしや家族がいない時に急病で倒れた場合、救急車を呼ぶことができて、その人がどのような病気をもち、どのような薬を飲んでいるのか、緊急連絡先は誰にしたらいいのかといった情報を、筒型のプラスチック容器に入れたキットを使い、救急隊に伝えるものである。是非この事業を取り入れるべきと考えるがどうか。



救急医療情報キット

答 民生委員の協力などをいただきながら、ひとり暮らしの方に配布していく。

問 家族防災会議の日について

答 理解はするが、風化してしまうのでは

問 東日本大震災から1年3ヶ月が経過した。自然災害は時と場所を選ばずに起こる。新ためて災害に強いまちづくりについて町長の考え方を聞く。

答 震災復興計画をもとに避難所や避難路等の充実に回りながらソフト・ハード両面にわたり、防災に強い松島をつくり出していきたいと考える。

問 東日本大震災の体験をふまえ、3・11の日を本町の「家族防災会議の日」に設定し、防災マップやマニュアル等を活用しながら、それぞれ我が家の防災対策を話し合う日にしてはどうか。

答 理解はするが、日を決めると、それがその日だけで2、3年で風化してしまうおそれがある。その日だけに限定せず、年次を通して、家族でそういったことを自覚していただく方策を考える必要がある。

一般質問



たか はし たつ ろう
高橋辰郎 議員
(一問一答方式)

問 高城川決壊、 氾濫への対策は

答 25年度中に中橋まで改修

問 昨今は異常気象報道が気にかかる。5月6日関東地方に竜巻があつて栃木県等4県で家屋2千棟超が損壊し死傷者も出ている。5月3日〜4日は大雨があつて美里、涌谷町等5市町で4321世帯に避難指示が出ている。ゲリラ豪雨、台風、暴風雨、爆弾低気圧等があり高城川が心配だ。

答 高城川は改修が基本で、次に非常事態での避難等の対策が不可欠である。



改修中の高城川

問 これまで議会には4月に改修の計画が公表され27年まで中橋までの工事計画が進行と示された。

答 平成21年か22年である。

問 対県折衝で要望書を提出し早期改修を訴えている最新年月はいつか。

答 中橋までは25年度が目標で、残余は早期改修という事である。

問 現在国会審議中の新子育て 法案についての所見を伺う

答 今後の推移に留意していく

問 現在国会で「新子育て法案」が審議されている。内容を見ると①現在の保育所、幼稚園等は総合こども園となる。②現在保育所等の子育て行政は市町村の責任となっているがこの責任はこども園に転換となる。③子育ての責任は「親」の自己責任となる。④市町村は親に対し支援金を給付する。等々で親の負担は決定的に増大すると思われる。親の負担増の緩和対策の考え方は。

答 新法の総論、字面を見るとバラ色のとも思える。しかし一つひとつを見ると机上の空論とも思えるものがある。指摘された事もあろうと思われ、アイディア的なものをパンと出しているかとも伺える。仮に実施を考えてもこれから国県の事務事業の流れもあり、留意していく。

これも聞きました

問 多くの自治体と 災害協定を急げ

答 大垣市・滑川町等と
進めている

問

わが町の子育て支援策は十分か

答

児童館の設置はいろいろな方法を考えている

問 児童館の設置は、いまでも「勤労青少年ホーム」での併設を考えているのか。

答 次世代育成支援行動計画の中で「勤労青少年ホーム」の整備を基本としてスタートしているが、議会からの指摘もあり、その他の方向についても考えながら進めていきたい。

問 子育て支援策を充実させるには、組織の見直しも必要ではないのか。現在の町民福祉課は大きすぎるのではないか。

答 本年度は無理であるが、次年度以降に協議する段階である。



松二小運動会



たか はし ゆき ひこ
高 橋 幸 彦 議員
(一問一答方式)

一般質問

一部事務組合議会報告

宮城東部 衛生処理組合議会

3月22日、平成24年第1回定例会が宮城東部衛生処理組合議会室において開催された。

提出議案は、

①規約の変更以下の3件。

○宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更

○宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更

○宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更

○宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更

○職員給与に関する条例の一部を改正する条例について。

○職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について。

○平成23年度補正予算で1644万3千円を減

額し、総額を8億7701万6千円とするもの。

⑤24年度組合会計予算は総額で8億3千万円で、前年度比1400万円増、率にして1・72%増である。

以上、提案された全議案は原案のとおり可決された。

組合議会議員

後藤 良郎 議員

今野 章 議員

塩釜地区 環境組合議会

3月23日、塩釜地区環境センター大会議室において開催された。

提出議案は、

①規約の変更以下の3件。

○宮城県市町村退職組合規約の一部変更

○宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置の一部変更

○宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の一部変更

○地方公務員の育児休業に関する条例の改正。

○職員給与に関する条例の一部改正について。

○平成24年度環境組合の会計予算での歳入の主なものは、分担金および負担金、使用料、手数料など合計で3億

9300万円、前年比1・3%の減である。歳出の主なものは、議会費、総務、衛生、災害復旧費などで72・9%減である。松島町の負担金は、環境センター管理負担金が5102万2千円、し尿処理施設等事業の負担金は1917万8千円、斎場管理負担金は328万円となっている。

以上、提案された全議案は原案のとおり可決された。

組合議会議員

高橋 辰郎 議員

片山 正弘 議員

塩釜地区 消防事務組合議会

3月23日、塩釜地区消防事務組合議会室において開催された。

提出議案は、

①規約の変更と条例の一部改正については、各事務組合と同じ。

②平成23年度一般会計補正予算については、1100万円を増額し、総額を30億5763万8千円とした。

③平成24年度一般会計予算については、総額を20億3720万円、前年比1・92%減額となっている。歳出では、職員人件費等の経常経費並びに施設整備事業を計上。松島消防署はしご車オーバーホール修繕費2625万円、本部庁舎指令課仮眠室改修工事1千万円等が主

な事業である。

④平成24年度介護認定審査事業特別会計予算については、総額で1億3222万2千円。

⑤平成24年度障害者自立支援審査事業特別会計予算については、総額で298万円となっている。

⑥工事請負契約の締結の主な内容については、消防救急無線施設、消防司令センターおよび潮位観測装置災害復旧整備事業についてである。

組合議会議員

太齋 雅一 議員

高橋 幸彦 議員

第1常任委員会

6/25

陳情に関する

現地調査を
迅速に実施



5月に松島行政区から「松島地域集会所施設に関する陳情」が提出され、6月議会において当委員会に付託され、9月までに結論を出すべく直ちに6月25日に現地調査を行った。

15号の際に一時避難所が無かったこと、また、皆で集まる施設がないこと、そして最寄りの集会所施設まで遠いということ、集会所の必要性を訴え、松島字蛇ヶ崎右の町有財産である空き住宅を、一部改修して当座の集会所として使用させてもらいたいという主旨である。

第2常任委員会

5/23

先進地視察研修

(利府町・富谷町)

(利府町)
◇視察研修目的

利府町西部児童館「りふくる」の施設内容および運用等について

◇研修内容

児童館「りふくる」は平成23年4月、利府町菅谷台に開所された。施設の運営は「NPO みやぎ・せんだい子どもの丘」が利府町より指定を受けて行っている。

主な事業としては、①広場の開設、②各種講座の実施、③相談事業の実施、④子育て情報の提供、などである。

◇所感

(1)施設全体がとても明るく、そして広々としており、立地場所も大変良いところと感じられた。

(2)視察研修日が水曜日の午前中だったにも関わらず、利用者が大変多いのには驚いた。

(3)施設を運営しているスタッフが、大変明るく

元気に働いている姿が印象的だった。また、全国から沢山のボランティアや色々な団体が施設を訪れており、交流が盛んに行われているようで、子育て支援に対する情報交換がしっかりなされている様子であった。

(富谷町)
◇視察研修目的

「放課後子ども教室」について

◇研修内容

町内6つの公民館において、放課後の子どもたちの安全、安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習やスポーツ・文化芸術活動・地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進している。

◇所感

参加していた子どもたち

ちから、「宿題や勉強を教えてもらえるのでうれい」「学校より楽しい」「地域の高齢者の方と昔の遊びをしながら一緒に過ごすのが楽しい」といった声があり、子どもたちの生き生きとした姿がとても印象的であった。



利府町西部児童館



岸 恵美子さん
(下竹谷)

今、残したい 地域の宝もの

私たちの地域の舟であった『松四小』が閉校になったから、子供たちは元気にスクールバスで松二小へ通っています。

でも、「やはり慣れ親しんだ学校をどうにか残し、地域のみんなで使っていきたい」そんな思いで結成したのが旧松四小の学校通信『いちよう』から名付けた『いちようの会』。町と約一年間、

様々な意見交換をし、東部地域交流センターとして、旧松四小が生まれ変わった事を、私はとても嬉しく思っています。地域の方々と一緒に楽

しめる陶芸や蕎麦打ち、豆腐づくり等を企画しています。みなさんにセンターに足を運んでいただき、この旧校舎を『地域の宝もの・みんなが集れる場所』として未永く残してほしいのです。

また、体育館では子供たちと『和合太鼓』の練習も継続中です。今年も町の夏祭り行事『海の盆』に参加しますので、みなさん応援宜しくね。

平成24年度議会報告会

11月頃より議会報告会を開催します。詳細日程は10月に町の広報・ポスター・チラシ等でお知らせします。

◎班長

班名	議員名	担当行政区
第1班	◎ 高橋辰郎 伊賀光男 洪谷秀夫 高尾幸彦 櫻口悦一	磯崎 初原 上竹谷 北小泉
第2班	◎ 阿部幸夫 藤橋利典 高後片良 山正弘章 今野章	高城 幡谷 手樽 桜渡戸
第3班	◎ 緑山市朗 色川晴夫 阿部幸夫 赤太菅野雅良	松島 本郷 下竹谷 根廻



町のホームページから
議会だよりが検索できます！

ホームページアドレス

<http://www.town.matsushima.miyagi.jp/>

議会Eメール

gikai@town.matsushima.miyagi.jp



議会からのお願い

議会だよりにのせる写真撮影のために、議員が出向きます。腕章をつけて行きますので、よろしくご協力をお願いいたします。

次回9月定例会は
9月7日開催予定です。
ぜひ傍聴においで下さい。

編集後記

6月定例会は、主として震災による復旧・復興関連が中心の予算の補正となっております。その内容は、再生可能エネルギーとして、ソーラーパネルの2ヶ所設置、町民の食の安全・安心を重視し、町内の農・水産物に対し、放射性物質の検査などを盛りこんだものとなっております。

また、東日本大震災被災者医療費の減免が9月30日までの期限となっており、議案として継続を求める意見書を国に出したところです。大切な審議内容を私たち広報委員も、町民の皆様にもわかりやすくお伝えするため編集に努めました。町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。
(阿部幸夫)

- 議会広報発行対策特別委員会
- 委員長 高橋 幸彦
 - 副委員長 佐藤 皓一
 - 委員 緑山 市郎
 - 委員 伊賀 光男
 - 委員 色川 晴夫
 - 委員 阿部 幸夫



この広報誌は環境に優しい大豆油インキで印刷しています